

当事者の声が生きる 災害支援セミナー

東日本大震災により大切な人やモノ、日常を失った悲しみ、怒り、そして避難生活の疲労や環境の悪化など、被災者はさまざまな困難を抱えました。

そのような中で、自らも被災しながら高齢者、子ども、女性など多様な立場の人に寄り添い、支援活動を行った現地の人たちがいます。

東北からそのようなリーダーをお招きし、被災者の姿や、活動を始めた経緯、被災した当事者の声を聴きながら行った支援の様子を知り、今できることを考え、万が一に備えます。



9/10(日) 13:30~15:30 (受付開始 13:15)

- 対象 どなたでも 40人
- 場所 静岡市女性会館 (アイセル 21) 4階 研修室
- 一時保育 あり (1歳~未就学児まで、500円/1人、8/31までに申込順に電話で受付)
- 講師 ゲスト 長沢涼子さん (福島県男女共生センター職員)
山下 梓さん (弘前大学 男女共同参画推進室専任担当教員(助教))
コーディネーター 池田恵子 (静岡大学教授 減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)
- 参加費 無料
- 申込 8月1日(火)午前10時から、電話またはHPからお申し込みください (申込順)
TEL 054-248-7330 <https://aice21.jp>

【個人情報の取り扱い】今回の募集で収集した個人情報は、本講座受講管理業務および講座案内のためのみに利用させていただきます。

静岡大学・静岡市女性会館

(指定管理者 NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか)



●ゲスト紹介

長沢涼子さん（福島県男女共生センター 企画調査課 主査）

2000年、(財)福島県青少年育成・男女共生推進機構に就職。センターの立ち上げからプロパー職員として勤務し、11年目の2011年3月11日、震災に遭遇した。その後、地域の女性グループと連携して、県内最大規模の避難所となったビッグパレットふくしまの女性専用スペースを運営した。

山下 梓さん（弘前大学男女共同参画推進室専任担当教員（助教））

岩手県岩泉町出身。2005年よりセクシュアルマイノリティの人権運動にかかわりはじめる。国連参加協議資格を持つセクシュアルマイノリティの権利に関する国際NGO「ILGA」元共同代表。2011年3月よりセクシュアルマイノリティ支援グループ「岩手レインボー・ネットワーク」を主宰。岩手大学男女共同参画推進室特任研究員を経て、現在、弘前大学男女共同参画推進室専任担当教員（助教）

●コーディネーター紹介

池田恵子（静岡大学教育学部社会化教育 教授）

国際協力の現場を経て2000年より静岡大学教育学部教授。社会地理学、南アジア地域研究が専門。 Bangladesh 農村を対象に、開発とジェンダー、農村住民の災害対応、地域防災への女性の参加などを研究。東日本大震災後、「東日本大震災女性支援ネットワーク」に参加し、被災地への支援活動に女性の視点を取り入れるための研究や調査を行った。

2014年4月からは一人ひとりの被災者が大切にされる防災・災害支援の体制を備えた社会の実現を目指す「減災と男女共同参画研修推進センター」の共同代表を務める。

●講座申込先

静岡市女性会館 TEL:054-248-7330

①氏名 ②生年 ③電話番号 ④市民活動をしている人はその活動内容をお伝えください。

●会場案内

静岡市女性会館

〒420-0865 静岡市葵区東草深町 3-18

TEL 054-248-7330 HP <https://aice21.jp>

交通のご案内

- バス 県立病院高松線「アイセル21」下車
(JR静岡駅北口バスターミナル内10番のりば)
- 徒歩 JR静岡駅北口より 30分
静鉄日吉町駅より 15分

*無料駐車場はございますが、台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

